



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



ホテイアオイ（丸亀市郡家町庄ノ池）

目次

1. 香川県へ農業農村整備事業の推進について要望2
2. 香川県議会へ農業農村整備事業の推進について要望3
3. 令和2年度香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会開催4
4. 小学校へ出前授業～香川用水土地改良区～／水面に揺れる涼.....5
5. 「水を追う男・西嶋八兵衛物語り」第七回6
6. 育児休業を取得して7
7. 会と催し／令和2年度土地改良換地士資格試験のご案内8

香川県へ農業農村整備事業の推進について要望

8月25日、本会の大山会長をはじめ、組橋副会長、三笠副会長、野瀬常務理事の役員4名が会員を代表して香川県庁を訪れ、農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、県予算の確保等について要請活動を行った。

県庁では、浜田県知事をはじめ、農政水産部の幹部の方々に要望書を手渡し、本県農業の持続的な発展や農村の振興、多面的機能の十分な発揮などを実現するためには、農業農村整備事業の計画的な推進が必要不可欠であること、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」や「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立に伴い、ため池の適正な保全管理及び計画的な防災工事など、総合的なため池の防災減災対策の推進等についてお願いした。



浜田県知事に要請



西原副知事に要請

要 望 書

1. 地域の実情に即した農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、政府及び関係機関に対して働きかけるとともに、県予算についても十分な確保を行うこと。
2. 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」や「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立に伴い、ため池の適正な保全管理及び計画的な防災工事など、総合的なため池の防災減災対策の推進に努めること。
3. 農業の持続的な発展を通じて、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を推進するため、これを支える地域の協働活動等を支援する「多面的機能支払制度」を推進すること。今後、農業従事者の高齢化や減少が進行する中、土地改良区などを単位とした広域化の推進による取組面積の拡大並びに活動組織の維持・強化に向け、支援及び指導に努めること。

香川県議会へ農業農村整備事業の推進について要望

8月25日、本会の大山会長をはじめ、組橋副会長、三笠副会長、野瀬常務理事の役員4名が会員を代表して香川県議会を訪れ、農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、県予算の確保等について要請活動を行った。

県議会では、西川議長、十河副議長、高木経済常任委員会副委員長に対して、要望書を手渡し、今後、農業従事者の高齢化や減少が進行する中、活動組織の取り組み面積の拡大や維持・強化に向け、支援及び指導に努めるとともに、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を推進するため、これを支える地域の協働活動等を支援する「多面的機能支払制度」の推進等をお願いした。



香川県議会西川議長に要請



本会大山会長らによる要望内容説明

令和2年度香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会開催



8月17日(月)まんのう町『島が峰地区』において、令和2年度香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会が開催され、外部有識者7名、香川県農村整備課関係者4名が参加した。本委員会は「農村の活性化」、「中山間地域の多面的機能の発揮」などのテーマについて有識者で検討する会となっており、午前中は『島が峰地区』の現地視察及びそば打ち体験、午後からは現地視察の結果を踏まえて議案審議を行った。

今回視察先となった『島が峰地区』は、「この地の食文化や風景を次世代に残したい」そんな想いで集まった数

人の同志が、2016年に『島が峰の原風景を守る会(以下『守る会』とする)』を発足し、地域活性化に取り組んでいる地区である。現在では3.5haの耕作放棄地を開墾し、その一部でそばの栽培体験(グリーンツーリズム)を行っており、そばを用いた商品開発を行うなど、農村の活性化に積極的に取り組んでいる。

現地視察では『守る会』会長高尾幸男氏より、そばの栽培体験(グリーンツーリズム)は、そば播種作業から始まり、はぜ干し作業や機械を用いない昔ながらの脱穀作業などを行い、非常に人気のある体験メニューで県内各地から平均40名が参加しており、リピーターも多いことが述べられた。また、収穫されたそばを用いてそば打ち体験ができる『そば道場』では、『守る会』のメンバーが講師となって、そば打ちの全工程を教えており、最近では、県内各地のイベントでそば打ちを教える「出張そば道場」や、外国人にそば打ちを教える活動なども行っている。



現地視察後、参加者は『島が峰地区』で収穫されたそば粉を用いて、『守る会』メンバーの指導のもとそば打ち体験を行った。

午後からの委員会では香川県農村整備課の中村正樹課長が開会の挨拶を行い、本県農業農村の振興へのお礼とともに、今年3月、国において新たな「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定されたこと、また本県における、ふるさと水と土保全対策事業の取組みについて述べられた。

議事では、香川大学創造工学部の角道弘文教授を議長に選任し、下記の議案について審議され、いずれも原案の通り承認された。香川県農村整備課では「農村の活性化」という困難なテーマに対して、『島が峰地区』の現地視察結果や本委員会での意見を踏まえ施策を検討していくとのことであった。



議案

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和2年度事業計画について
- (3) ふるさと・水と土事業実施計画について
- (4) その他

小学校へ出前授業～香川用水土地改良区～

水土里ネット香川用水は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、水の大切さと香川用水の役割をテーマに、毎年県内の小学校において出前授業と清掃活動を実施している。この出前授業は平成15年度から始まり、「時代とともに歩む土地改良区」を目指して、小学校4年生を対象に毎年約20校で行っている。今年は、新型コロナウイルス対策のため、学年毎に行っていた事業を、複数回に分けてクラス毎で行った。

8月28日、高松市立川島小学校の4年生3クラス84名の児童を対象に、香川用水土地改良区の職員が講師となり、水の重要性、香川県特有の歴史や水事情、香川用水の役割などについて授業が行われた。授業はクイズを交えて楽しく行われ、児童たちは積極的に発表し、メモを取りながら熱心に講師の話に聞き入り、水の大切さを学んだ。

授業を終えた児童たちは、「シャワーのお湯をこまめに止めて、節水を心掛けたい。」「学んだことを家族に話し、家族で水を大切にしたい。」と感想を話していた。



香川用水土地改良区の職員による授業

水面に揺れる涼

ホテイアオイは、日光に反応して朝に花を咲かせるが、夕方にはしぼむことから「一日花」とも呼ばれている。繁殖力が強く、夏の猛暑にも耐えられるそうで、環境にもよるが10月ごろまで咲いているという。

水辺では水面の半分以上を覆うように群生しており、丸みを帯びた葉の中に直径10センチほどのかれんな薄紫色の花が姿を見せている。



ホテイアオイ（観音寺市原町の躰池）

水を追う男・西嶋八兵衛物語り

第七回 池内村の土地を提供

「四国作家」同人 平井 忠志

それからは毎日のように、廃池満濃池の検分が始まった。満濃池の復興にはまず池内村となっている田畑を確保するのが先決である。この池内村はほとんどを豪族矢原家の当主矢原又衛門が所有していた。

八兵衛は翌日、又右衛門の帰宅を待ちかねて、満濃池跡地の提供を申し出た。

「矢原殿、満濃池の跡地の田畑をお譲り願えまいか」

八兵衛は又右衛門の顔色を伺いながら、単刀直入に切り出した。跡地とはいえ四百年ものあいだ矢原氏が耕してきた田畑である。いくらなんでも無償というわけにはいくまいと、腹をくくっていた。

「宜しゅうございます。無条件で提供させていただきます」

八兵衛は思わず息をのんだ。「無条件とは・・・？」

「無償で立ち退きいたします。いわば先祖が、弘法大師様からお預かりしていた土地です。十数軒の百姓屋も、私が責任をもって立ち退きさせましょう」

矢原又右衛門は、にこにこ笑いながら、こともないげに言い放った。

「それは有り難い。お礼の申し上げようもござらぬ」

用地のめどが立つと、八兵衛は直ちに築堤の準備にとりかかった。弘法大師の築堤資料が門外不出であることを幸いとばかり、毎晩のように千恵の居間に行き、千恵と額を合せながら絵図面や文書を見開いた。

八兵衛が最初に計画したのは、底ユルである。八兵衛は考えた。

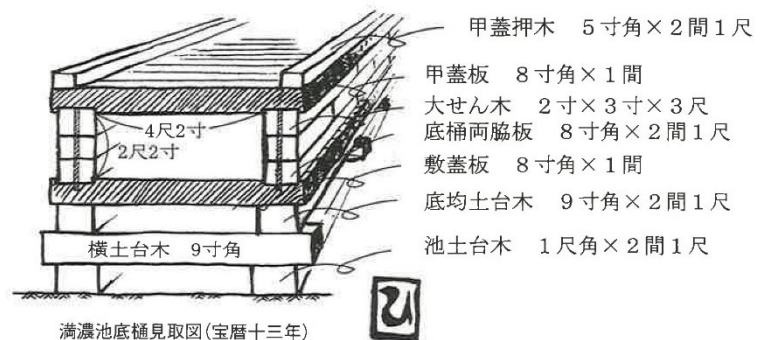
「工事中に大雨が降っても、流しきれる大きさが要る。人間一人が潜り抜けられる大きさにせねばなるまい」

いろいろ思案の末、幅四尺二寸（127センチ）、高さ二尺二寸（67センチ）、長さ六十五間（118メートル）という巨大な木造の暗渠を、池底に埋設することにした。

「これは困った。これだけの暗渠を造る木材は、到底讃岐では調達できぬ。大阪の木材市場に手配を頼むほかあるまい」

八兵衛が満濃池の復興に手間取っているあいだにも、領内は干ばつ被害が続いていた。寛永三年（1626）には八兵衛に追い打ちをかけるように、大干ばつがおきた。たまたまその翌年、幕府の隠密が讃岐に入り、災害の爪あとをつぶさに記録した『讃岐探索書』が残されている。

それによると、「寛永三年の物成、ことごとく日に焼け、十の物一つ御座候の由にて・・・（中略）一村にて五人、六人づつ見る見るかつへ死に申す由・・・」と、その悲惨な有様をつづっている。





育児休業を取得して

香川県土地改良事業団体連合会

事業課 主任技師 山本祐毅

この度、第二子誕生に伴い、育児休業を一ヶ月ほど取得しました。本会において、男性が育児休業を取得することは初めての事例であり、私自身取得することに対し戸惑いがありましたが、育児休業を取得したことで言える確かなことは、この一ヶ月の期間は何よりも家族にとってかけがいのない時間であったということです。

育児休業を取得して良かった思える理由の一つ目は、朝から晩まで(晩から朝まで)時間の許す限り、好きなだけ我が子の成長を見ることができるといことです。喃語が増えた、目で何かを追いかけるようになった、声に反応するようになったなど、日々の少しの変化に感動して、思わず微笑んだりもしました。土日の休みだけではここまで日々の細かい成長は見届けられません。



二つ目は、育児の喜びと辛さが十分に理解できて、妻との絆も深まったということです。第一子の時は、妻の心と体の調子が悪かったにも関わらず、うまく支えられずに辛い思いをさせてしまいました。



実際に自分で一日育児をしてみても感じたのは、休む間がない、また自分の思い通りにならないことが多々あり、仕事の疲労とは比較にならないということでした。

ミルクをあげる、一緒に遊ぶ、おむつを替える(15分に1回のときも)、風呂に入れる、予防接種に連れて行くなど、かなりやる事が多く、一日があつという間に終わってしまう日もありました。また、終わらない日もありました。

想像していた育児と現実とは、全く違うということを実感し、そんな中で育児だけではなく、食事や洗濯などの家事もこなしている妻の存在が大きすぎて頭が下がります。

育休中は妻の負担軽減のため、またコロナ禍ということもあり、3食自炊することを決め、毎日献立を考え、奮闘しました。初めはおいしいと言って食べる長男も、途中から箸もつけずにふりかけがほしいという日もありましたが、そんな長男も次男が泣き出したら、誰よりも早く様子を見に行き、「パパ、おむつやで。」「パパ、ミルクがほしいんちゃうん。」等、報告してくる姿にお兄ちゃんの自覚が生まれたんだなあと感じ、成長を実感しました。

他にも色々書きたいことはありますが、これから育児休業を取得しようかどうか迷っている男性がいたら、絶対に取得した方が良いと思います。子どもはあつという間に成長します。もちろん大変なこともあります。是非、子供の成長していく様子を間近で見守ることができる喜びを感じてほしいと思います。

育休中は本当に色々な人に支えて頂きました。家族や友人をはじめ職場の上司・同僚に改めて感謝したいと思います。ありがとうございました。



会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
8月11日	土地改良補償業務管理者等講習会（中国四国ブロック）	岡山市
8月17日	香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会	高松市
8月26日 ～28日	令和2年度実践技術研修 品質向上コース（品質向上）	岡山市
8月27日	第90回香川用水記念会館管理委員会幹事会	高松市
8月27日	香川県農林年金連絡協議会総会	高松市



香川県ホームページ「かがわの農業農村整備」
URL : <http://www.pref.kagawa.lg.jp/tochikai/>

お詫び

「香川の土地改良第736号」の木斛池でラジコン型草刈機の実演会の記事において、「木斛池」となっておりましたが、「木柵池」の間違いでした。
関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。

令和2年度土地改良換地士資格試験のご案内

試験期日 令和2年11月15日（日）

試験地 岡山市

受験申込 令和2年8月17日（月）から
受付期間 令和2年10月5日（月）まで

◎受験願書及び「受験案内」等の配布

- ・ 配布期間：令和2年8月17日（月）～令和2年9月25日（金）
- ・ 配布場所：香川県土地改良事業団体連合会

問い合わせ先：香川県土地改良事業団体連合会 事業課 (087)832-7140 まで